

# 「スーパーシティ」構想について（具体像）

<抜粋>

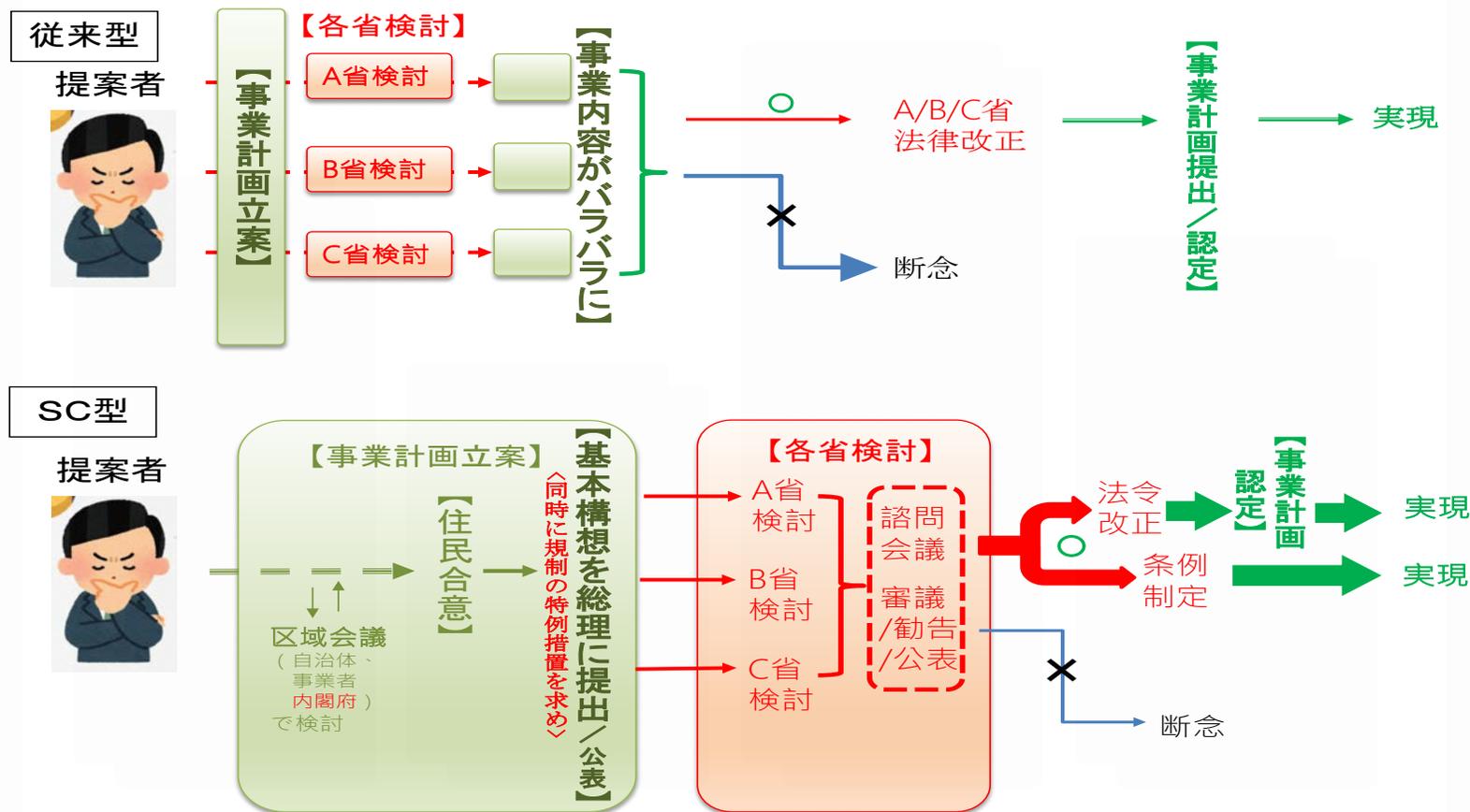
- 以下のような領域（少なくとも5領域以上など）を広くカバーし、**生活全般にまたがる**  
①移動、②物流、③支払い、④行政、⑤医療・介護、⑥教育、⑦エネルギー・水、⑧環境・ゴミ、⑨防犯、⑩防災・安全
- **2030年頃に実現される未来社会での生活を加速実現**する
- **住民が参画し、住民目線**でより良い未来社会の実現がなされるよう、ネットワークを最大限に利用する



# 「スーパーシティ」構想 (法案により想定される効果・従来型とSC型の比較)

## ■ 事業計画の同時・一体・包括的実現

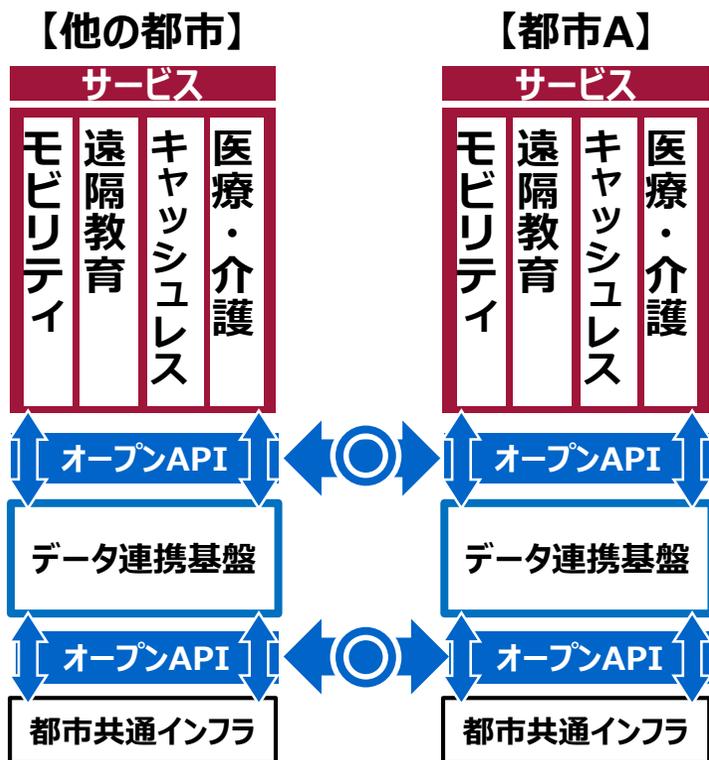
- ▶ 従来型では、事業計画案の検討中に各省調整を行い、その段階で多くの事業が断念、若しくは、個別に内容の修正を受け、案もバラバラに。
- ▶ SC（スーパーシティ）型では、内閣府も加わり、実現すべき複数の規制改革を含む事業内容全体を一体的に検討。その案を、各省調整の前段階で公表することにより、各省の検討が同時・一体・包括的に進むよう後押し。



# スーパーシティ法案強化のポイント

- 各府省による協力を強化するため、**国による援助規定**を追加。加えて、府省間での具体的な協力プロセスを基本方針（閣議決定）に明記。
- 都市間でバラバラなシステムの乱立を防止し、相互連携を強化するため、システム間の接続仕様であるAPI（\*）をオープンにするルールを整備し、**法令上義務化**。併せて、各都市のAPIを**内閣府のAPIカタログ**上で公開、地域の開発者用サイト構築を支援。
- 法施行後、**3年後を目途に、上記施策の過不足を検証し、施策の見直し**を行う「検討規定」を追加。

## オープンAPIルール



## 各府省施策との連携

